

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第84期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	蛇の目ミシン工業株式会社
【英訳名】	JANOME SEWING MACHINE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 眞壁 八郎
【本店の所在の場所】	東京都八王子市狭間町1463番地
【電話番号】	042(661)3071
【事務連絡者氏名】	経理部長 徳永 稔
【最寄りの連絡場所】	東京都八王子市狭間町1463番地
【電話番号】	042(661)3071
【事務連絡者氏名】	経理部長 徳永 稔
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第83期 第2四半期 連結累計 期間	第84期 第2四半期 連結累計 期間	第83期 第2四半期 連結会計 期間	第84期 第2四半期 連結会計 期間	第83期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(百万円)	21,752	16,782	10,847	8,719	40,487
経常利益又は経常損失( ) (百万円)	166	11	85	271	171
四半期純利益又は四半期(当 期)純損失( )(百万円)	551	21	451	286	5,083
純資産額(百万円)	-	-	18,088	12,672	12,740
総資産額(百万円)	-	-	58,307	48,340	50,997
1株当たり純資産額(円)	-	-	90.64	62.82	63.10
1株当たり四半期純利益金額又 は1株当たり四半期(当期)純 損失金額( )(円)	2.85	0.11	2.34	1.48	26.30
潜在株式調整後1株当たり四半 期(当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	30.1	25.1	23.9
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	697	1,187	-	-	543
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,119	150	-	-	2,061
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	1,462	2,372	-	-	2,208
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	-	-	3,842	3,461	4,866
従業員数(人)	-	-	3,690	3,268	3,282

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第83期、第83期第2四半期連結累計期間および第83期第2四半期連結会計期間は1株当たり四半期(当期)純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第84期第2四半期連結累計期間および第84期第2四半期連結会計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

### （1）連結会社の状況

（平成21年9月30日現在）

従業員数（人）	3,268 [562]
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は[ ]内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。なお、従業員数には営業社員、臨時従業員数にはソーイングアドバイザーを含んでおります。

### （2）提出会社の状況

（平成21年9月30日現在）

従業員数（人）	683 [504]
---------	-----------

（注）従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は[ ]内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。なお、従業員数には営業社員、臨時従業員数にはソーイングアドバイザーなどを含んでおります。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額（百万円）	前年同四半期比（％）
ミシン関連事業	3,182	34.2
産業機器事業	540	50.4
情報処理他サービス事業	21	26.5
24時間風呂・整水器事業	144	18.6
合計	3,889	36.6

(注) 1 金額は、製造価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当社グループの生産は、主として見込み生産によっているため、記載を省略しております。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額（百万円）	前年同四半期比（％）
ミシン関連事業	6,752	17.6
産業機器事業	703	40.9
情報処理他サービス事業	875	15.1
24時間風呂・整水器事業	387	10.5
合計	8,719	19.6

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書の記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

なお、当社借入金の一部について、前年同期の純資産比較において、財務制限条項に抵触しておりますが、主要な金融機関から、期限の利益喪失請求は行なわず、従来通りの支援を継続する旨の了解をいただいております。資金繰りの問題は生じておりません。

### 3【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

#### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

##### （１）業績の状況

当第２四半期連結会計期間は、昨年来の金融不安による世界経済の停滞感が漂うなか、内需の底上げにより景気を持ち直しの兆しが見えるものの、設備投資の回復の遅れや、雇用・所得環境の悪化による個人消費の低迷、さらには急激な円高の進行等により、依然として先の見えない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、生産・販売拠点の整理・統廃合を含め、原価低減、経費の徹底的な削減を行い、利益の確保に注力しました。

当第２四半期連結会計期間におけるミシン関連事業については、売上台数は40万台（前年同四半期比約2万台減）となり、売上高は6,752百万円（前年同四半期比17.6%減）、営業利益は前年同四半期比333百万円増の491百万円となりました。

産業機器事業については、依然として設備投資抑制の動きが続いており、売上高は703百万円（前年同四半期比40.9%減）、営業損失は65百万円となりました。

情報処理他サービス事業の売上高は875百万円（前年同四半期比15.1%減）、営業利益は6百万円、24時間風呂・整水器事業の売上高は387百万円（前年同四半期比10.5%減）、営業損失は26百万円となりました。

これらの結果、当第２四半期連結会計期間の売上高は、8,719百万円（前年同四半期比19.6%減）、営業利益は400百万円（前年同四半期比241百万円増）、経常利益は271百万円（前年同四半期比186百万円増）、四半期純利益は286百万円（前年同四半期は451百万円の純損失）となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第２四半期連結会計期間の輸出を含む日本の売上高は5,708百万円（前年同四半期比21.5%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比232百万円減）となりました。

北米の売上高は1,558百万円（前年同四半期比15.2%減）、営業利益34百万円（前年同四半期比20百万円増）となりました。

東南アジアの売上高は143百万円（前年同四半期比18.4%減）、営業利益は205百万円（前年同四半期比302百万円増）となりました。

その他の地域の売上高は1,309百万円（前年同四半期比15.9%減）、営業利益は105百万円（48百万円増）となりました。

財政の状態は、次のとおりであります。

当第２四半期末の総資産は48,340百万円（前連結会計年度末比2,656百万円減）となりました。

資産の部では、流動資産は現金及び預金、たな卸資産等の減少により16,803百万円（前連結会計年度末比2,310百万円減）となりました。固定資産は有形固定資産の減価償却による減少等により31,536百万円（前連結会計年度末比346百万円減）となりました。

負債の部では、主に借入金の減少により流動負債が17,961百万円（前連結会計年度末比674百万円減）、固定負債が17,707百万円（前連結会計年度末比1,913百万円減）となりました。

##### （２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は、第１四半期連結会計期間末から1,614百万円減少し3,461百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは192百万円となりました。この主な要因は棚卸資産の減少によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは11百万円となりました。この主な要因は敷金の回収による収入ならびに有形固定資産の取得によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,763百万円のマイナスとなりました。この主な要因は長期

借入金の返済によるものであります。

( 3 ) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。なお、当報告書の、「第2 事業の状況 2 事業等のリスク」に記載の通り、主要な金融機関の継続的な支援により、借入金にかかる財務制限条項についての問題は生じておりません。

( 4 ) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、236百万円であります。なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

#### (1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

#### (2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	360,000,000
計	360,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引 所名又は登録認可 金融商品取引業協 会名	内容
普通株式	195,214,448	195,214,448	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 1,000株
計	195,214,448	195,214,448	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年7月1日 ~ 平成21年9月30日	-	195,214	-	11,372	-	823



(5)【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
大栄不動産株式会社	東京都中央区日本橋室町1-1-8	15,374	7.87
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	7,587	3.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海1-8-11	6,936	3.55
蛇の目従業員持株会	東京都八王子市狭間町1463番地	4,515	2.31
株式会社埼玉りそな銀行	埼玉県さいたま市浦和区常盤7-4-1	3,432	1.75
不二サッシ株式会社	神奈川県川崎市幸区鹿島田890-12 新川崎三井ビルディング	2,000	1.02
蛇の目協力会持株会	東京都八王子市狭間町1463番地	1,902	0.97
そしあず証券株式会社	東京都中央区日本橋室町3-2-15	1,848	0.94
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	1,732	0.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	東京都中央区晴海1-8-11	1,331	0.68
計	-	46,657	23.90

- (注) 1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社が所有している当該株式は、同社の信託業務にかかる株式であります。
2. 当社は平成21年9月30日現在、自己株式1,892千株(0.96%)を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

(6)【議決権の状況】  
 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,892,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 193,174,000	193,174	
単元未満株式	普通株式 148,448		
発行済株式総数	195,214,448		
総株主の議決権		193,174	

(注)「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が25,000株(議決権個数25個)含まれております。

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
蛇の目ミシン工業株式会社	東京都八王子市狭間町 1463番地	1,892,000		1,892,000	0.96
計		1,892,000		1,892,000	0.96

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	69	69	85	79	83	80
最低(円)	38	50	59	57	73	65

(注) 株価は、東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,136	5,548
受取手形及び売掛金	5,876	5,937
有価証券	-	20
商品及び製品	4,108	4,565
仕掛品	479	508
原材料及び貯蔵品	1,506	1,678
その他	843	1,003
貸倒引当金	147	148
流動資産合計	16,803	19,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,469	7,548
土地	16,405	16,434
その他(純額)	2,187	2,269
有形固定資産合計	26,061 <sub>1</sub>	26,251 <sub>1</sub>
無形固定資産		
のれん	1,149	1,237
その他	574	586
無形固定資産合計	1,724	1,824
投資その他の資産	3,751 <sub>2</sub>	3,806 <sub>2</sub>
固定資産合計	31,536	31,883
資産合計	48,340	50,997
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,805	2,221
短期借入金	12,925	13,900
未払法人税等	235	277
賞与引当金	304	370
その他	1,689	1,866
流動負債合計	17,961	18,635
固定負債		
社債	860	860
長期借入金	6,569	8,092
再評価に係る繰延税金負債	5,079	5,082
退職給付引当金	4,463	4,633
その他	734	950
固定負債合計	17,707	19,620
負債合計	35,668	38,256

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,372	11,372
資本剰余金	823	823
利益剰余金	1,794	1,844
自己株式	325	325
株主資本合計	10,076	10,026
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	55	53
繰延ヘッジ損益	4	4
土地再評価差額金	4,290	4,295
為替換算調整勘定	2,163	2,065
評価・換算差額等合計	2,068	2,172
少数株主持分	527	541
純資産合計	12,672	12,740
負債純資産合計	48,340	50,997

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
 【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：百万円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日)
売上高	21,752	16,782
売上原価	11,959	9,904
売上総利益	9,793	6,877
販売費及び一般管理費	9,566	6,697
営業利益	227	180
営業外収益		
受取利息	19	14
受取配当金	19	46
為替差益	171	9
助成金収入	-	60
その他	113	73
営業外収益合計	323	204
営業外費用		
支払利息	252	242
その他	132	130
営業外費用合計	384	373
経常利益	166	11
特別利益		
固定資産売却益	1	9
補償金受入益	-	421
特別利益合計	1	430
特別損失		
投資有価証券評価損	245	-
固定資産除売却損	148	26
貸倒引当金繰入額	-	117
減損損失	24	-
特別損失合計	418	143
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	250	298
法人税、住民税及び事業税	186	216
法人税等調整額	83	37
法人税等合計	269	254
少数株主利益	30	23
四半期純利益又は四半期純損失( )	551	21

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	10,847	8,719
売上原価	5,896	5,026
売上総利益	4,950	3,692
販売費及び一般管理費	4,791	3,291
営業利益	158	400
営業外収益		
受取利息	11	8
受取配当金	1	33
助成金収入	-	39
その他	78	50
営業外収益合計	92	131
営業外費用		
支払利息	125	119
為替差損	7	78
その他	32	62
営業外費用合計	165	260
経常利益	85	271
特別利益		
固定資産売却益	0	5
補償金受入益	-	290
特別利益合計	0	295
特別損失		
投資有価証券評価損	245	-
固定資産除売却損	129	6
貸倒引当金繰入額	-	117
特別損失合計	374	123
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	288	444
法人税、住民税及び事業税	131	115
法人税等調整額	24	23
法人税等合計	155	139
少数株主利益	7	18
四半期純利益又は四半期純損失( )	451	286

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	250	298
減価償却費	585	507
減損損失	24	-
のれん償却額	97	87
退職給付引当金の増減額( は減少)	146	170
受取利息及び受取配当金	38	60
支払利息	252	242
投資有価証券評価損益( は益)	245	-
売上債権の増減額( は増加)	119	194
たな卸資産の増減額( は増加)	1,286	610
仕入債務の増減額( は減少)	97	591
その他	75	297
小計	223	1,615
利息及び配当金の受取額	41	60
利息の支払額	252	268
法人税等の支払額	263	220
営業活動によるキャッシュ・フロー	697	1,187
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	26	-
定期預金の払戻による収入	7	13
有価証券の売却及び償還による収入	210	-
有形固定資産の取得による支出	1,341	429
その他	30	265
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,119	150
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	2,536	1,215
長期借入れによる収入	-	450
長期借入金の返済による支出	939	1,573
社債の償還による支出	125	-
その他	9	33
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,462	2,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	164	10
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	519	1,346
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	58
現金及び現金同等物の期首残高	4,361	4,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,842	3,461



## 【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更</p> <p>当第2四半期連結累計期間に連結子会社が合併したことにより、連結の範囲から除いた会社は2社であり、その内訳は次のとおりであります。</p> <p>ジェーマック(株)は、平成21年4月1日付で連結子会社であるジャノメアメリカ(株)に吸収合併されました。</p> <p>(株)ジェー・ティー・エスは、平成21年4月1日付で連結子会社である(株)ジャノメクレディアに吸収合併されました。</p> <p>蛇の目興産(株)、宝生ミシン製造(株)は当第2四半期連結会計期間において清算したため、連結の範囲から除外しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数</p> <p>21社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(計上区分の変更)</p> <p>情報処理事業にかかる連結子会社の費用については、従来販売費及び一般管理費として処理していましたが、第1四半期連結会計期間より売上原価として計上する方法に変更しております。この変更は、売上高に対応する原価の把握をより適切に行うための原価計算精度が向上したことによるものです。</p> <p>この変更により、従来の方法によった場合と比べ、当第2四半期連結累計期間の売上原価は1,065百万円増加し、売上総利益及び販売費及び一般管理費は同額減少しております。</p>

## 【表示方法の変更】

当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
(四半期連結貸借対照表) 前第2四半期連結会計期間において、固定負債の「その他」に含めて表示しておりました「再評価に係る繰延税金負債」は、負債及び純資産の合計額の100分の10を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結会計期間の固定負債の「その他」に含まれる「再評価に係る繰延税金負債」は5,104百万円であります。

## 【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 棚卸資産の評価方法	棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価引下げを行う方法によっております。
3. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。 なお、一部の子会社においては、固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。
4. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。 なお、一部の子会社においては、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1 有形固定資産減価償却累計額 17,050百万円	1 有形固定資産減価償却累計額 17,257百万円
2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額	2 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額
投資その他の資産 229百万円	投資その他の資産 112百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売手数料 682百万円	販売手数料 687百万円
従業員給料及び手当 3,708百万円	従業員給料及び手当 2,651百万円
賞与引当金繰入額 416百万円	賞与引当金繰入額 117百万円
退職給付費用 225百万円	退職給付費用 229百万円
減価償却費 105百万円	減価償却費 116百万円

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
販売手数料 347百万円	販売手数料 353百万円
従業員給料及び手当 1,772百万円	従業員給料及び手当 1,280百万円
賞与引当金繰入額 267百万円	賞与引当金繰入額 49百万円
退職給付費用 118百万円	退職給付費用 110百万円
減価償却費 49百万円	減価償却費 53百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期 連結貸借対照表に掲記されている科目の金額 との関係  <div style="text-align: right;">(平成20年9月30日)</div> 現金及び預金勘定 4,459百万円 預入期間が3か月を超える 定期預金等 617百万円 <hr/> 現金及び現金同等物 3,842百万円	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期 連結貸借対照表に掲記されている科目の金額 との関係  <div style="text-align: right;">(平成21年9月30日)</div> 現金及び預金勘定 4,136百万円 預入期間が3か月を超える 定期預金等 674百万円 <hr/> 現金及び現金同等物 3,461百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 195,214千株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 1,892千株

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

	マシン関連事業 (百万円)	産業機器事業 (百万円)	情報処理他サービス事業 (百万円)	24時間風呂・整水器事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	8,193	1,190	1,030	432	10,847	-	10,847
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	4	264	275	10	555	(555)	-
計	8,197	1,454	1,306	443	11,402	(555)	10,847
営業利益又は 営業損失( )	157	84	4	84	153	4	158

(注) 1 事業区分の方法：製品種類別区分によっております。

2 各事業の主要な製品

- (1) マシン関連事業.....マシン及びその他付属品
- (2) 産業機器事業.....ロボット、エレクトロプレス、注型・成形品、ダイカスト鋳造品
- (3) 情報処理他サービス事業...ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸、メンテナンスサービス  
レストラン運営
- (4) 24時間風呂・整水器事業...24時間風呂、整水器

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	マシン関連事業 (百万円)	産業機器事業 (百万円)	情報処理他サービス事業 (百万円)	24時間風呂・整水器事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,752	703	875	387	8,719	-	8,719
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	1	158	215	6	381	(381)	-
計	6,754	862	1,090	393	9,100	(381)	8,719
営業利益又は 営業損失( )	491	65	6	26	405	(5)	400

(注) 1 事業区分の方法：製品種類別区分によっております。

2 各事業の主要な製品

- (1) マシン関連事業.....マシン及びその他付属品
- (2) 産業機器事業.....ロボット、エレクトロプレス、注型・成形品、ダイカスト鋳造品
- (3) 情報処理他サービス事業...ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸、メンテナンスサービス
- (4) 24時間風呂・整水器事業...24時間風呂、整水器

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	マシン関連事業 (百万円)	産業機器事業 (百万円)	情報処理他サービス事業 (百万円)	24時間風呂・整水器事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	16,356	2,481	2,056	858	21,752	-	21,752
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15	525	548	21	1,110	(1,110)	-
計	16,371	3,007	2,605	879	22,863	(1,110)	21,752
営業利益又は営業損失( )	182	130	32	62	218	9	227

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	マシン関連事業 (百万円)	産業機器事業 (百万円)	情報処理他サービス事業 (百万円)	24時間風呂・整水器事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	12,888	1,286	1,829	779	16,782	-	16,782
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	16	282	442	15	756	(756)	-
計	12,904	1,568	2,271	795	17,539	(756)	16,782
営業利益又は営業損失( )	410	180	10	34	184	(4)	180

(注) 1 事業区分の方法：製品種類別区分によっております。

2 各事業の主要な製品

- (1) マシン関連事業.....マシン及びその他付属品
- (2) 産業機器事業.....ロボット、エレクトロプレス、注型・成形品、ダイカスト鋳造品
- (3) 情報処理他サービス事業... ITソフトウェア・情報処理サービス、不動産賃貸、メンテナンスサービス、レストラン運営
- (4) 24時間風呂・整水器事業...24時間風呂、整水器

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジ ア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	7,275	1,838	175	1,557	10,847	-	10,847
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	3,356	-	4,633	10	8,000	(8,000)	-
計	10,632	1,838	4,808	1,568	18,848	(8,000)	10,847
営業利益又は 営業損失( )	240	13	96	56	214	(55)	158

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南アジ ア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,708	1,558	143	1,309	8,719	-	8,719
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,097	-	3,396	13	5,507	(5,507)	-
計	7,806	1,558	3,539	1,322	14,227	(5,507)	8,719
営業利益	8	34	205	105	352	47	400

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	14,830	3,413	375	3,132	21,752	-	21,752
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	5,523	-	8,756	19	14,300	(14,300)	-
計	20,354	3,413	9,131	3,152	36,052	(14,300)	21,752
営業利益又は 営業損失( )	230	5	133	100	191	35	227

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	東南ア ジ ア (百万円)	その他 の 地 域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	11,318	2,671	256	2,535	16,782	-	16,782
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	3,414	-	6,230	14	9,659	(9,659)	-
計	14,732	2,671	6,487	2,550	26,442	(9,659)	16,782
営業利益又は 営業損失( )	259	18	270	146	176	4	180

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法.....地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米.....米国、カナダ

東南アジア.....台湾、タイ

その他の地域...イギリス、オランダ、スイス、オーストラリア、ニュージーランド、チリ



【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間（自平成20年7月1日至平成20年9月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	1,937	2,617	1,977	6,532
連結売上高（百万円）				10,847
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	17.9	24.1	18.2	60.2

当第2四半期連結会計期間（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	1,672	1,700	1,739	5,113
連結売上高（百万円）				8,719
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	19.2	19.5	20.0	58.6

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	3,674	5,196	4,158	13,029
連結売上高（百万円）				21,752
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	16.9	23.9	19.1	59.9

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	北米	欧州	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	2,858	3,358	3,249	9,465
連結売上高（百万円）				16,782
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	17.0	20.0	19.4	56.4

（注）1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

2 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

(1) 国又は地域の区分の方法……地理的近接度によっております。

(2) 各区分に属する主な国又は地域

北米………米国、カナダ

欧州………イギリス、オランダ、ドイツ、スイス

その他の地域…東南アジア、豪州、中東、アフリカ、中南米

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 62.82円	1株当たり純資産額 63.10円

2. 1株当たり四半期純損益金額

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 2.85円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 0.11円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失( ) (百万円)	551	21
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(百万円)	551	21
期中平均株式数(千株)	193,324	193,322

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 2.34円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	1株当たり四半期純利益金額 1.48円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失( ) (百万円)	451	286
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失( )(百万円)	451	286
期中平均株式数(千株)	193,324	193,322

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しておりますが、当四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載していません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

蛇の目ミシン工業株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 内田 英仁 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 市瀬 俊司 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている蛇の目ミシン工業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、蛇の目ミシン工業株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

蛇の目ミシン工業株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内田 英仁 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 湯浅 信好 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 市瀬 俊司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている蛇の目ミシン工業株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、蛇の目ミシン工業株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。